

# くでじゅう 組手什とは

木材の主用途以外の、捨てられる部分から、断面40×15mmの細い平板に、組手(クデ)を加工した棒状の組立部材です。



この組手什は、都市の家庭やオフィスと、水源の森と村をつなぐ架け橋です。皆さんが暮らしの中で木の感触や香り、快適な木装空間を楽しむことによって、廃棄される間伐材や未利用材に新たな価値を与え、森と山村を潤します。



さあ、何よりもまず、楽しみながら組み立てて下さい。手を掛ける楽しさ疲労と達成感、木の香りと触感から、山の景色を想い語ってみて下さい。

長坂木材工業株式会社  
組手什おかげまわし東海  
〒461-0044 名古屋市東区矢田東1-7

Tel. 052-711-5257

Fax. 052-711-5215

nagasaqa@live.jp

代表取締役 長坂 洋



地下鉄ナゴヤドーム前 3番出口より徒歩3分  
瀬戸街道沿い 街道東側 三菱電機ライフネットワーク南隣

<http://www.geocities.jp/nagasaqa>  
<http://9de10tohkai.web.fc2.com>

くでじゅう

検索

## “森と人をつなぐ”

木をつかうことによる森づくり

# くでじゅう 組手什

長坂木材工業株式会社



# 国産スギの間伐材、未利用材を使って、日本の森と山村を豊かに。

今、日本の人工林では間伐が行き届かず、環境面からも、林業生産面でも、防災面でも、非常に危険な状況にあります。一刻も早く間伐を進めなければなりません。また、間伐されてそのまま切り捨てられることが多く、その利用を促進して海外の森林破壊や地球温暖化の防止に貢献することが求められています。

## 組手

クデと読みます。組手と書いてクデと読ませるのは、木工に携わってきた職人ことばのようです。双方に切り欠きを施し、互いをかみ合わせることで、木材の本性特性である粘り強さを活かし、欠点とされる『反り・捻じれ・曲がり』を補正することにあります。



## 什

ジュウと読みます。今日では使われなくなってしまいましたが、什器とは日常生活で用いられる身の回りの道具のことで、家具ばかりではなく、食器なども指していたようです。会津藩における藩士に、子弟を教育する組織名にも、『什』が用いられていたそうです。『人』と『十』という二画文字を組み合わせた漢字のつくりにも、『人々が交わり、長所を活かし、短所を補う』、という意が込められていたのでしょう。

## くでじゅう 組手什

一つひとつの材料は細く、弱くても、組手を幾重にも組むことにより、韌やかに強くなる。



縦横に組み合わせるだけで、自由に家具や小物を作成できます。

ねじや釘は不要。作りたいサイズにのこぎりでカットして、部材の組手同士をゴムハンマーを使ってはめ込みます。表面加工をしていないので、国産の杉材の、森の香りが部屋いっぱいに広がります。天然の木材の手触りや、使い込むことによる経年変化も楽しめます。

## わたし

誰でも手軽に作れて、美しく心地よい。

## 森

間伐材が利用されることによって森の手入れが進み、日本の森が元気になる。

## つくり手

日本の木の文化と技を次世代に引き継ぐ。

## 組手什おかげまわし

製品に関係した人たちみんなの「おかげ」がぐるぐると日本の社会に回るこのしくみを、私たちは「おかげまわし」と呼んでいます。

購入代金の一部が森林整備団体に支援されます。組手什は、林地残材集荷プロジェクト ~木の駅プロジェクト~ を応援します。